

ラジオ体操指導者講習会を開催しました

6月30日(火)、揖斐川健康広場アリーナで、ラジオ体操指導者講習会を開催しました。

講師にNHKテレビ・ラジオ体操指導者の岡本美佳氏と実技者の杉井勇介氏を迎え、ラジオ体操第一と第二を学びました。

講師はそれぞれの動きの意味と効果を実技に合わせて解説し、参加した約70名は大人も子どもも楽しみなが正しい体操を学ぶことができました。

参加者は、一つ一つの動きを確かめながら教えてもらえたのでわかりやすかった、体を意識して動かすことで筋肉が伸びるのを感じた、などと話していました。



▲講習会の様子

絵本作家谷口智則と楽しむライブイベント

7月4日(土)、揖斐川町地域交流センター「はなもも」で、絵本作家・谷口智則さんをお招きしてイベントを開催しました。

キーボードの演奏と歌に合わせた絵本の読み聞かせに加え、子どもたちからリクエストされた動物を、その場で次々と描くライブペインティングが行われました。

一つひとつ動物が描かれ、色が重ねられて作品が完成していく様子を間近で見ることができ、会場は目の前に広がるアートに大きな拍手と歓声で包まれました。

完成した作品は現在、揖斐川町役場ロビーで展示しています。ぜひご覧ください。



▲即興で絵を描く谷口さん

地域医療講座を開催しました

6月23日(火)～6月29日(月)のう

ち4日間、老人保健施設 山びこの郷および久瀬診療所で揖斐高校生を対象に地域医療講座を開催しました。これはキャリア教育の一環として、職場体験を希望する高校生に体験の機会を提供し、就職や進学の一助とするものです。高校生は計40名が参加し、一日を通して各職種(看護師・栄養士・介護福祉士・作業療法士・介護支援専門員・調理師・医療事務)に分かれ、現場体験を行いました。

参加した高校生からは、「利用者さんの背景を会話から見つけ出すのはすごく意味のある仕事だと感じた」「些細な変化を同職種同士で情報共有されていた」などの感想が聞かれました。



▲車いすのお手伝いをしました

みんなで声を合わせ心ひとつに
～北方小学校～

7月7日(火)北方小学校と福井県・池田小学校の6年生児童が徳山ダム周辺で交流をしました。

両校は、令和5年に国道417号冠山峠道路が開通したことをきっかけに交流をしてみました。

今年度は6月にオンラインで両校6年生が交流し、この日を迎えました。両校6年生は、一緒に旧徳山の歴史を学んだり、徳山ダムを見学したり、ダム湖でグループに分かれてEボートに乗りました。

今後、北方小児童が福井県を訪れ交流する予定です。



▲声を合わせてEボートをこぎました

揖斐川の維持管理について 国土交通省に要望しました

7月16日(木)、岡部町長が国土交通省木曽川上流河川事務所長を訪問し、揖斐川の適切な維持管理について要望を行いました。

要望では、北方森前地区などの揖斐川河川内に繁茂する草木について、伐採の対応を求めました。



▲【木曽川上流河川事務所】
貴家所長(右)へ要望書を
手渡す岡部町長

国道303号(仮称)鉄嶺トンネルの 事業推進を岐阜県に要望しました

7月21日(火)、岡部町長が岐阜県知事を訪問し、国道303号(仮称)鉄嶺トンネルの事業推進について要望を行いました。

要望では、トンネル工事の早期完成に向けて、事業を着実に推進いただくよう求めました。



▲江崎知事(右)へ要望書を
手渡す岡部町長

FC岐阜ホームタウン応援大使 の箱崎達也選手が表敬訪問

7月23日(木)、揖斐川町ホームタウン応援大使の箱崎達也選手が町長を表敬訪問しました。

箱崎選手は2025年2月から当町のホームタウン応援大使を務めており、役場一階ロビーには、サイン入り等身大パネルが設置されています。

町長との対談では、「百年構想リーグで得た手応えと、この半年間で培った自信を力に変え、J2昇格を達成したい」と2026/27シーズンの意気込みを語っていただきました。

対談後は、庁舎内を巡りながら職員との交流を行いました。



2026/27シーズンへの
意気込みを語る箱崎選手▼



揖斐高生の職業体験！ デュアル実習を紹介

4月から、揖斐川町役場でデュアル実習を行っている揖斐高校3年遠藤涼雅と西田蓮です。

デュアル実習とは、普通科の授業の1つで、町内のさまざまな職場で1年を通して就業体験を行うものです。実習を通して、働くことの楽しさや厳しさを学び、地域や社会に貢献できる人材となることを目的としています。

実習先の政策広報課では、配布するギフト券の宛先や枚数を確認する作業や、広報記事に掲載するための写真の撮影を行いました。商工観光課では、グッズ開発の提案と資料作成や町民の皆さんへ送付する資料の整理などを行いました。

デュアル実習を通して、一つひとつの業務には大切な意味と責任があることを学びました。また、一見単調に思える作業であっても、多くの人の役に立っていることを実感しました。

これからも1年間の実習を通してさらに多くのことを学び、地域の皆さんの力になれるよう、頑張っていくしたいと思います。



▲デュアル実習の様子

めむろだより

第6回芽室花火「華音2026」 が開催されました！

今年も芽室町で芽室花火「華音2026」が7月12日に開催されました。華音は、2014年まで28年間続いていた芽室町の花火大会を見て育った20〜30代の町民有志が実行委員会を立ち上げ、今の子どもたちにも楽しんでもらいたいと開催したお祭りです。2019年に初開催し、今年で5回目の開催となります。当日は、芽室町から派遣されている大友さんや揖斐川町の方々もボランティア活動に駆けつけてくれました。

今年の華音は天候が心配されましたが、町内外のアーティストによるステージイベントや様々なアトラクションイベントのほか、飲食ブースは北海道内から約80店のお店が集結し会場は大盛況となりました。フィナーレの花火は約5,000発打ち上がり、子どもを始めとし、来場者の皆様の思い出に残る花火大会となりました。

芽室町では華音のほかにも多くのイベントが開催されます。ぜひ一度芽室町にお越しいただき、芽室のイベントをお楽しみください！

(芽室町魅力創造課 岩崎)

芽室町公式フェイスブックでは町の情報をどんどんお届け！



▲当日の様子